

江古田小校長室便り 「温故創新」

H30(2018)・0111 NO74

校長 伊波喜一

人の目を 気にするなかれ 大切なことは自ら 動くことだと

今年の成人式も終わりました。当日の着付けを頼んでいた会社が倒産し、予約していた晴れ着を着ることが出来ずに途方に暮れていた新成人の人達。そこを機転を利かしてボランティアの皆さんがフォローしたという話は、心温まるエピソードでした。「親身になって」と口で言うのは簡単でも、我が身の行動で示すのは容易なことではありません。途方に暮れている若者達のことを、我が身に引き比べて案じてくれたボランティアの皆さんの心意気に、頭が下がりました。「何かを成したかったら、一步踏み出さなければならぬし、踏み出す勇気があるかどうかで、人生が変わる。(試合は)怖いし、緊張するのは当たり前。だけど、一步踏み出して何かをやる。それが重要だと思う」。これは、昨年WBAミドル級チャンピオンになった村田涼太さんの言葉です。晴れ着ボランティアの人達も村田さんも、回りがどう思うかではなく、自分ならどうするかと能動的に物事を捉え・挑戦しています。自らに挑戦し続ける人には、限界点さえも成長の糧としていける、そう私は思っています。